

平成 31 年 1 月 4 日

## 年 頭 所 感

一般社団法人全国高圧ガス容器検査協会  
会 長 白 砂 清 一

平成 31 年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。  
日頃は当協会の活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年は 10 月に予定されている税制改正や外国との経済協定など  
社会環境の変化が予測され、今後の市場や景気にどう影響するか注視  
しながら、保安事業や新規会員の加入に積極的に取り組んでいきます。



### 高圧ガス容器検査について

景気が堅調に推移しており、昨年の容器再検査対象本数は 480 万本と前年比 3%程落ち込みましたが、  
今年は 494 万本と再び 3%回復する見込みです。

バルク貯槽くず化は今年から 2024 年まで右肩上がりが増えると予測され、LP ガス用 FRP 容器について  
は、昨年からプラコンポ、今年は GTK20P-II の再検査も始まります。対象容器の流通本数はまだ少ない  
ですが徐々に増えてくると思われます。

### 技術委員会について

当協会では LP ガス技術委員会と一般高圧ガス技術委員会が活動しており、技術資料の作成や講習会  
関係団体への講師派遣や委員会の参加など多岐にわたり活動しています。

昨年主催しました講習会には多くの皆様にご参加して頂き誠にありがとうございました。

容器検査講習会では技術委員が部門別にポイントを押さえた分かり易い解説をしていますので是非ご参  
加ください。

今年の LP ガス技術委員会は西日本豪雨のような災害時における多数の容器流出について対応を検討し  
ています。講習会の開催時期はアンケートのご要望により 6 月から 7 月にかけて開催を予定しています。  
一般高圧ガス技術委員会は一般複合容器再検査基準を昨年改訂し、併せて在宅医療用容器整備手順も発  
刊しました。新エネルギー関連では水素燃料電池フォークリフト用容器の検討委員会へ委員を派遣しま  
した。講習会については 10 月に東京、12 月は名古屋で開催しており、今年は 3 月に福岡で行います。

当協会は容器再検査の技術や知見を高め保安の確保に努めてまいります。

今年も皆様の益々のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。